

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第3区分

【発行日】平成17年9月8日(2005.9.8)

【公表番号】特表2000-508758(P2000-508758A)

【公表日】平成12年7月11日(2000.7.11)

【出願番号】特願平10-529193

【国際特許分類第7版】

F 2 4 C 7/04

A 4 7 J 37/08

【F I】

F 2 4 C 7/04 3 0 1 Z

A 4 7 J 37/08

【手続補正書】

【提出日】平成17年1月14日(2005.1.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 手 続 補 正 書

平成17年 1月14日

特許庁長官 小川 洋 殿

## 1 事件の表示

平成10年 特許願 第529193号

## 2 補正をする者

名 称 コーニンクレッカ フィリップス エレクトロニクス エヌ  
ヴィ

## 3 代 理 人

住 所 東京都千代田区霞が関3丁目2番4号  
霞山ビルディング7階 電話(3581)2241番(代表)

氏 名 (7205) 弁理士 杉 村 興 作



## 4 補正対象書類名 請求の範囲

## 5 補正対象項目名 請求の範囲

## 6 補正の内容 別紙のとおり



方 案



## 請 求 の 範 囲

1. 第1加熱素子及び第2加熱素子を具え、第1及び第2加熱素子が電気的に直列に接続されて交流電源電圧を印加され、第1加熱素子が二つのサブ素子に分割され、サブ素子が第1ノードで相互接続され、二つのサブ素子のうちの一つを起動及び停止させるためのスイッチ手段を具える電気トースターにおいて、起動及び停止させるためのスイッチ手段が、直列接続された第1一方向性手段及び第2一方向性手段を具え、それらが第1加熱素子と並列に接続され、第1一方向性手段及び第2一方向性手段が第2ノードで相互接続された対応電極を有し、及び、第1ノード及び第2ノードを相互接続するための手段をえることを特徴とする電気トースター。
2. 第1加熱素子の二つのサブ素子の各々が、第2加熱素子の抵抗値に実質的に等しい抵抗値を有することを特徴とする請求項1に記載の電気トースター。
3. 第1加熱素子の二つのサブ素子が支持体上の加熱導体の巻線からなり、二つのサブ素子の個々の巻線が支持体の隣接した部分に位置することを特徴とする請求項1又は2に記載の電気トースター。
4. 第2加熱素子が他の支持体上の加熱導体の巻線からなり、第2加熱素子の巻き数が、第1加熱素子の二つのサブ素子の巻き数の和に実質的に等しいことを特徴とする請求項3に記載の電気トースター。
5. 相互接続手段が、ユーザーが操作可能な電気スイッチをえることを特徴とする請求項1乃至4のいずれか1項に記載の電気トースター。
6. 相互接続手段が双方向性制御可能電子スイッチであり、更に、電子スイッチのオンオフデューティサイクルを制御するための手段をえることを特徴とする請求項1乃至4のいずれか1項に記載の電気トースター。
7. 第1及び第2一方向性手段がダイオードであることを特徴とする請求項6に記載の電気トースター。
8. 第1一方向性手段及び第2一方向性手段がサイリスタであり、相互接続手段が第1ノードと第2ノードとの間の短絡回路であり、更に、サイリスタをトリガーするための手段をえることを特徴とする請求項1乃至4のいずれか1項

に記載の電気トースター。

9. トリガーするための手段がサイリスタにトリガーパルスを供給するように動作し、該トリガーパルスが交流電源電圧の選択された一つのサイクルの間存在することを特徴とする請求項8に記載の電気トースター。